

① 自分史 人生 生きてきた路

1	ああ懐かしき青春の わがアルト・ハイデルベルグ	郷原 副由	H 4・12
2	私の歩いた道	西木戸 衛	H 10・6
3	アンカーのいない駅伝ランナー	山下卯一郎	S 61・4
4	花咲く小径	満生 はま	H 4・5
5	我が一代の記	持丸 鉄身	H 7・7
6	自分の半生史	甲木 正亮	H 7・6
7	我がハイカイ、我がタンカ	安河内政光	H 15・6
8	山の湧き水	酒見ナミエ	H 8・2
9	我が人生	佐宗 秀吉	H 15・10
10	私だけが知っている私のノートから	平嶋忠太郎	H 4・7
11	福岡県政三十年	古賀 哲也	H 3・4
12	限りなき目標に向かって	金納 学	S 57・6
13	豊かなる岡	中島 勲	H 15・12
14	おふくろの味	横溝フサヨ	S 60・
15	喜寿あぶりだし	平嶋忠太郎	H 7・6
16	敏夫と共に	河野 雅子	S 59・1
17	飛形山上なで観音の記	吉原 善吾	H 5・1
18	自分史マイウェイ	西江 和子	H 8・
19	螢雪遥かなり	内山 末吉	H 9・3
20	回想録	大住 榊	H 3・2
21	古稀の歩み	古賀 哲也	H 15・1
22	よーら書かさんな	平嶋忠太郎	H 11・12
23	忘れ得ぬ思い出	やひめ文庫	H 7・8
24	心の玉手箱	やひめ文庫	H 5・9

25	私の生涯	松尾 新七	H 3・7
26	恩師の米寿私共の喜寿 祝賀記念誌	昭 六 会	H 6・4
27	九十二年間のメッセージ	北原 政雄	H 15・3
28	蟻塔 -不惑号-	丸山 英太	S 55・11
29	私の卒後五十年史	といち会	H 3. 5
30	人生八十余年夢まぼろしと 過ぎし流れのつれづれに	蒲池 清己	H 16・6
31	父を温ねて三千里 野田孝太郎の生涯とその周辺の世界	野田 多賢	H 15・11
32	黒木家の人々	黒木 政斗	H 13・11
33	金婚式をむかえて	梅本 瞳	H 7・
34	私は接ぎ木だった -町長三期の回顧録-	末安 良行	H 11・2
35	夢のピクチャー -野口朝加遺作集-	野口朝加遺作集を出版する会	H 9・9
36	故人の追想回顧	野崎 政夫	H 9・9
37	和而不同人-下川八二追慕集	刊行世話人会	S 61・5
38	物々好感	松田 久彦	S 60・6
39	笑顔と共に	草場宇良子	H 8・9
40	結婚六十五年亡妻との思い出	山口 政次	H 8・12
41	土龍の欠伸 もぐらのあくび	郷田 敏男	S 58・1
42	光のように -澤ミツコ姉追悼記念集-	沢 正雄	S 53・11
43	心の散歩道	牛島 幸七	S 53・5
44	潮騒の記	石井 竹乃	S 53・2
45	美しい生活を拓く	秋山 好明	H 7・9
46	私の人生探求	秋山 好明	S 63・9
47	海に近い家	野庭由恵子	H 15・11
48	花の小径	松尾 薫	H 7・5
49	自然と文化	山下 功	H 10・6

50	道しるべ	中島 梧桐	H 1・10
51	ふたば	近本 光夫	H 6・
52	弥蘇葉	〃	
53	寄生木（やどりぎ）	山口 昌登	H 16・4
54	美有香抄	下川 久枝	
55	美有香抄二号	下川 久枝	H 14・12
56	職人が奉仕をする時	山口 昌登	H 15・
57	懐古	〃	H 16・
58	古稀・明徳の季節	平嶋忠太郎	S 62・10
59	たんがくの証言	〃	H 14・11
60	自由日記	山浦 欣一	S 27・12
61	日記帖	〃	S 28・12
62	はたちの記	〃	S 30・10
63	古いハンカチ	〃	H 15・9
64	光と影と	深町 浩男	S 48・6
65	わが魂の遍歴	増田 陸郎	S 52・12
66	父の遺稿	高橋甲四郎	H 13・8
67	ハローマイベイビー	石橋 芳恵	H 15・11
68	死と向き合って	井上 寿代	H 12・4
69	筆おもむくままにあれ是	大坪 国夫	H 1・8
70	走頭無路	末安 良行	H 8・4
71	私の人生辞書	秋山 好明	S 55・3
72	私の人生参考書	秋山 好明	S 62・3
73	セレベスの海底から	笠原 美代	H 16・10
74	ストレイ・シープ	山口 博	H 8・10
75	郷愁の富野が丘	中村 十生	S 46・12
76	物識り狂	植村 勝明	H 14・12

77	逆転バカ社長	栢野 克己	H 16・1
78	ガス燈	中島 敏彦	S 51・8
79	日本縦断ひとり旅	北村 辰也	H 8・4
80	初春を謳う	早川眞吾編	H 9・8
81	リベラルにいまを生きる	早川眞吾編	H 1・9
82	わたしの童話集	山田 信代	H 11・3
83	余生を楽しく	山口 昌登	H 16・
84	雑木林	黒木 三郎	H 6・11
85	四葉のクローバー	田中 博編	H 2・4
86	見てるかお父さんを	大津 賢司	H 14・5
87	花々と星々と	犬養 道子	S 45・1
88	小さな灯	清水 晃	H 10・4
89	紙魚の足跡	中村 亀蔵	S 35・6
90	法の花ごころ	湯川 久子	H 2・5
91	瞬間に燃える	永井 進	S 58・4
92	年々去来の花	湯川 久子	H 7・5
93	名前を探る旅	中村 尚樹	H 12・8
94	てんさん回顧録	横溝 薫	S 59・4
95	17 音の青春	神奈川大学	H 12・3
96	王子の山物語	横溝 薫	S 56・10
97	邪馬台国日出る国の本当の話	原田 青夜	H 16・12
98	わが半生の記	寺崎 幸男	S 58・10
99	酒づくりと人づくり	木下 茂	H 6・12
100	持ち味一路	北島 豊	H 3・11
101	病跡学・史学叢談	王丸 勇	S 56・4
102	仏桑華	郷田 豊	S 46・12
103	邂逅	〃	S 48・5

104	続うちの子にかぎって	田中 忠	S 54・1
105	マイロード、自立へ	富田美穂子	H 13・11
106	アジア回廊	甲斐巳八郎	H 8・11
107	祖国を戦場にされて	根本百合子	H 12・7
108	少年時代	ジミー・カーター	H 15・8
109	町は消えていた	田辺 恭一	H 13・9
110	アメリカで英語について考えた	宮地 六美	H 2・5
111	私のつづり方	野中 延子	H 11・12
112	思い出の日記帳	室園 照子	H 12・3
113	川向うの団欒	田辺 恭一	H 6・2
114	空のおばさん	田熊 正子	H 2・4
115	絵を描く俘虜	宮崎 静夫	H 11・7
116	上海より上海へ	麻生 徹男	H 5・8
117	十字架から芬陀利華へ	ジャン・エラクル	H 4・9
118	時流に流されないで	池田 俊彦	H 16・8
119	さあ、前を向いて	木村 悦子	H 5・11
120	妻からの愛の宿題	上野 韶彦	H 16・7
121	日韓共生への道	安光 浩	H 15・6
122	なにか変だ。ぼくは狂っているのかな？	田中つゆ子	H 16・8
123	おばあさんの山里日記	佐々木 章	H 10・5
124	大正ロマンの影曳いて	清水 照子	H 8・12
125	風聲	山下 英雄	H 11・1
126	生前葬	古家 紀克	H 14・2
127	日田、三本松そしておばあちゃん	佐藤 準一	S 63・7
128	台湾一周旅行記	春田 文子	H 3・
129	吾が運を回想して	安達 英二	H 7・8
130	残照	山下千代寿	S 59・3

131	ある学者の軌跡	田中 定	S 57・1
132	長針だけの時計	原田 八重	S 60・8
133	朝子生命のかけ橋となって	間澤 洋一	H 11・7
134	さよならのあとに	大野 勝彦	H 6・3
135	ローン・ハート・マウンテン	エステル石郷	H 4・8
136	ぼくの村は戦場だった	田熊 正子	H 13・3
137	二十歳への提言	板坂 博之	S 56・1
138	昭和林業私史	宇江 敏勝	S 63・5
139	七夕の里	岩間 静子	H 16・8
140	寄宿舎の思い出集	福岡女学院	H 15・5
141	吾が生涯の記録	古賀 慶二	H 3・8
142	先祖考	児玉 囃昭	H 16・10
143	湯村貫之遺稿追想	福井 健夫	S 54・5
144	或る人生 - 上代琢代を偲ぶ -	上代 令子	H 5・12
145	続余生を楽しく	山口 昌登	H 16・12
146	土泥棒	山本 源太	H 2・1
147	自分を諦められずに	森 さなえ	H 13・1
148	ラジオの絆		H 12・8
149	どろんこ人生	竹井 広太	S 63・12
150	「小さな自分史」～私の10代～	国民文化祭	H 16・10
151	テーマは“希望”	笹木 千鈴	H 14・7
152	母の言いぶん	高森 和子	S 61・11
153	へそものがたり	〃	S 62・6
154	いろりばた	西田 正雄	S 57・8
155	人生と念仏	寺山 文融	H 17・1
156	命生る	樋口安癸次	H 16・12
157	六歳、槍ヶ岳に登る	虻川 圭實	H 14・8

158	久遠の鼓動 母さんみてて、生きるから	橘 佐久子	H 15・11
159	向日葵ひとすじ四十年	原口 酉男	H 9・12
160	遠い夢	吉富 徳	H 1・12
161	泣いても笑ってもまたあした	堀江 悦子	H 17・4
162	浦野隆夫の野球人生	浦野隆太郎編	H 16・12
163	介護記録 家族のきずな	末次 鎮衣	H 15・8
164	癌告知のあとで	鈴木 章子	H 1・1
165	なに人のあなた	神戸 瞳	H 14・10
166	私の趣味	田所 敏明	H 5・10
167	旅・旅行・そしてツアー	〃	S60・6
168	あしあと	古賀 次夫	H 2・10
169	ゆうな咲く島	鎌田 ヨシ	H 11・1
170	私は情婦	塩田須美子	H 15・12
171	よみがえる生命	向坊 弘道	H 6・8
172	ようらの記	綾小路 黎	H 8・7
173	生のあかし	山内 白葉	H 10・3
174	白血病の息子が教えてくれた医者的心	丹羽 鞆負	H 10・6
175	おれたちの落日	倉坂 葉子	S56・12
176	夢追いかけて	河合 純一	H 12・7
177	ホップの花は恋の花	諸岡 和彦	H 12・11
178	古老の百一話	賀谷 燦爾	H 7・7
179	意識の流れ	田池 留吉	H 16・12
180	団七踊り	佐塔豊淑凰	H 5・2
181	言葉のプレゼント	ユ ウ	H 15・12
182	私のヤケアトロジー	内田 順子	H 15・9
183	ガンよ！おごるなかれ	田村 誠一	H 8・2
184	最後の博徒 波谷守之の半生	正延 哲士	S59・1

185	続・最後の博徒	正延 哲士	S59・12
186	生きて帰りたい	森田 尚	H 15・8
187	新・ありらの歌	志賀喜美子	S53・12
188	死んでも生きている いのちの証し	菅原 茂	H 9・8
189	わが青春に「食い」なし	高橋甲四郎	H 17・5
190	大統領謝って下さい!	野田 皓一	H 15・11
191	心に光を求めて	日本失明傷痍軍人会	H 12・6
192	グスタレヤン放浪記	野間 大寒	H 10・7
193	風雪に耐えて	大谷 和雄	H 6・10
194	空からのらくがき	瀬戸真知子	H 7・4
195	飛びまわりスペイン	田中 直子	H 6・11
196	無敵	田井中圭一	H 16・12
197	八十路を越えて	渡辺 繁子	H 5・2
198	わすれな草	内田 正子	H 16・10
199	渡満の青春記	中島 重行	H 14・6
200	私の軌跡	具嶋太三郎	H 4・6
201	成る	鷲巣 弘	S62・10
202	助けられくぐり抜けた八十年	小野サト工	H 15・11
203	あしたふく風	吉田麻由美	H 13・6
204	合気道に導かれて 但求	庄田 幸生	H 15・4
205	南中ソーランの真実	欠野アズ紗	H 14・3
206	過ぎ去りし日々に	杉浦みな子	S63・4
207	三無事件	宇都宮 忠	H 14・12
208	自分史 いのち輝いて	楠本 利夫	H 5・7
209	雨森芳州	呉 満	H 16・11
210	いのちをつないで	賀久 はつ	H 12・2
211	桜色の最終章	塩田 博	H 15・6

212	風の廻廊	渡辺 斌	H 11・4
213	下駄ばき ICU	小柳 哲也	H 2・2
214	故郷に帰りたい	武村 淳	H 13・7
215	白線帽のうた	南 史一	H 12・12
216	アメリカ説法の旅	向坊 弘道	H 12・4
217	老尚麗	昭 四 会	H 10・10
218	余燼 - さようなら国鉄	田中 静治	S62・3
219	二十年目の返済	湯川 久子	H 12・11
220	鮎の四季 II	大谷 鮎子	H 14・5
221	由無し事	藤島 哲夫	
222	朝鮮のジャンヌダルク論介	呉 満	H 14・5
223	絆の新井田川	若宮 由松	H 15・5
224	イスタンブールの再会	大川 欣輝	H 11・10
225	やる気を育てる教育	井上 秀夫	H 4・1
226	50歳からまた始めた山登り	谷本 蟬丸	H 7・10
227	恋あざみ	堂園 徳子	H 3・10
228	四国歩き遍路の記	喜久本朝正	H 6・6
229	ある被爆者の戦後史	小峰 秀孝	H 9・1
230	ハンドル人生世相つれづれ	蛭田 清	H 10・11
231	倒産から軌跡の復活劇	野間 直彦	H 15・12
232	千虚、一実にかかず (続)	土肥 孝治	H 14・4
233	「姥捨て伝説」はなかった	古田 武彦	H 14・7
234	幸せに俺たちだって生きている	山本 進	H 15・1
235	チベットわが回想の10年 活仏	水原 渭江	H 16・6
236	愛と哀しみを越えて	伊藤 孝	S63・9
237	持っていたんだこんな楽器 口笛	もく まさあき	H 16・12
238	あんま人生泣き笑い	前中 敬三	H 4・3

239	阪本流あべこべ塾	阪本 晴子	H 14・12
240	ヤクトリ稼業は勝ち組商売	大牟禮光雄	H 11・1
241	ガンに冒された妻への鎮魂記	鷹野 三治	H 9・2
242	衣から食の竜平へ	田辺 正義	H 13・3
243	いのちの流れ	柳瀬 敏幸	S63・8
244	豆つぶ先生の放課後	瓜生 圭子	H 7・12
245	四月の雪	森田 道子	H 5・6
246	続・巴里ぶらり	島村佳代子	H 8・12
247	こころ思うままに	杉浦みな子	H 7・4
248	雪月花抄	劉 連花	H 11・5
249	母の青春	小長谷照子	H 12・3
250	我が半生の記	滝野 義雄	H 3・7
251	人生はパーミリオンとブルーの混じり合い	福山 清隆	H 16・12
252	夜学生とてんやわんや人生	渋谷 哲三	H 8・5
253	東パキスタンの大地に挑む	川路賢一郎	H 16・12
254	喜積が奇跡を呼ぶ	松田三恵子	H 16・4
255	ピンチ脱出の心理学	堀部 武司	H 17・1
256	生かされて生きる	松井 光江	H 12・3
257	百日紅	金田 太市	H 10・3
258	バブルがどうした！	三好 誠	H 11・6
259	神社とともに	〃	H 16・8
260	どこまでわかるヤマタイ国	〃	H 16・7
261	勝てる人は一握り	長澤 宏行	H 10・10
262	白杖エッセイ わが心の風景	松本 昌三	H 5・5
263	恵によって生かされる	正村 真次	H 12・4
264	信仰に国境なし	長澤久美子	H 15・12
265	遙かなる北の星空	董 熙豹	H 15・12

266	何でも撮ってやろう	武本 俊文	H 12・7
267	人に愛され走りつづけて七十余年	中岡 順了	H 13・7
268	おじいちゃん戦争のことを教えて	中條 高德	H 10・12
269	南十字に夢は尽きず	渡辺 要三	H 10・3
270	後に続く真の日本人へ	梯 禮一郎	H 13・10
271	わが青春	若松小夜子	H 10・12
272	窓の外は曇り空	江口ムツ子	H 17・5
273	持ち味一路	北島 豊	
274	山に向って	小畑 吉秋	H 2・6
275	清風求道	松鶴 潔	H 4・8
276	河童群像を求めて	暮安 翠	H 17・3
277	農地法と闘って四十年	榎井 恒義	H 5・7
278	回想余滴	井手 勝美	H 16・9
279	創ってきたビルメンテナンス	今井 義和	H 9・7
280	いつ死ぬかわからないから	小林 清子	H 14・12
281	私の歩いた道	阿部 逸郎	H 5・1
282	風に吹かれて	久賀 征哉	H 12・5
283	藜よ、ありがとう、そして、さようなら	田中 清子	H 7・5
284	清風求道	松鶴 潔	H 4・5
285	人生 浮雲の如し	渡辺 公典	H 14・12
286	自分史	林 繁郷	H 12・12
287	病気と私	田所 敏明	H 17・5
288	自分史	上田 銀治	H 16・11
289	幾山河	井出 定之	H 13・7
290	おうちがだんだん遠くなる	横田 進	H 15・6
291	神の慈しみの島ティモール	亀崎 善江	H 15・12
292	旅立ちのボストン	関野 陽	H 15・12

293	怒涛の人生	高橋 利彰	H 16・12
294	生きるってすばらしい	田原 米子	S57・2
295	堀内良平の生涯 富士を拓く	塩田 道夫	H 6・9
296	人生の万華鏡	小川 勝男	H 12・3
297	小原菁々子遺文集花鳥佛心		H 14・11
298	揺れた灯―天草便り―	馬場和加子	H 12・8
299	私のエッセイ	平嶋忠太郎	S 48・10
300	うにと私	藤野 幸平	S 51・11
301	下駄ばきぶらたん	富田 義弘	S 51・11
302	きものみち	加藤 花子	S 51・2
303	つれづれの旅	山下千代寿	S 63・3
304	掃きだめの露	平嶋忠太郎	S 56・10
305	私のアメリカ日記	田中 節子	S 57・1
306	還暦までの筆の跡	山田 一巳	S 63・4
307	農協運動四十年	家宇治 博	S 59・10
308	言いたい放題	山田 喜彦	S 60・3
309	傘寿好日	山下千代寿	S 60・10
310	思い出の料理集	横溝フサエ	S 60・4
311	乳房よかえっておいで	玉谷 直実	H 4・11
312	画集 由布岳	加藤田 務	S 63・9
313	我が人生に悔いなし	藤田耕一郎	H 15・1
314	農協経営十ヶ年の体験	蒲池 正雄	H 1・11
315	私の心の旅路	堀下 繁雄	S 50・4
316	夢は2001	吉富 徳	H 13・9
317	〃 2003	〃	H 15・6
318	心の波に浮かぶもの	平島 市次	S 36・8
319	百歳を迎えて	高木 正實	H 5・12

320	酔人回顧録	壇 健二郎	H 17・2
321	水明書院主人文集	三原 温	S 60・1
322	マコの初恋	山浦 欣一	H 17・6
323	ゆうすげの花	今木 恭子	
324	書いてまた消すごはんの便り	河村 秀敏	H 9・7
325	泣いても笑ってもまたあした	堀江 悦子	
326	田中八千男追想集		
327	青春白秋三十年有余	杉原 剛介	
328	厳冬の旅	陶山よし子	H 16・9
329	いま命輝いて	野尻千穂子	
330	通りゃんせ	中島 恵子	
331	久遠の鼓動	橘 佐久子	
332	インカの謎に惹かれて	渡辺 要三	
333	欧州七ヶ国に旅して	〃	
334	僕のごころの窓は110センチ	伊藤 正史	
335	花子のつぶやき	柿添 花子	H 17・3
336	良妻賢母	手島 貞夫	
337	吾輩は六法全書である	〃	
338	一陣の風	長田 一臣	
339	随筆集まなざし	濱田 蔵人	
340	竜太日記	小倉 一郎	H 17・3
341	八水先生行状記	平田 善作	
342	いのちの証し	菅原 茂	
343	人恋うごころ	前川 静子	
344	花いちもんめ	藤田三保子	
345	おおきに	碓 久義	H 2・3
346	広報マンのつぶやき	下田 高大	

347	飛翔	内田 玲子	H 5・7
348	自分史 風化を見つめて	渡辺 要三	
349	落陽	山口 昌登	
350	点字	〃	
351	父母の心・私の歩み	手嶋 貞夫	
352	病氣と私	田所 敏明	
353	いのちの流れ	柳瀬 敏幸	
354	続・医業の片すみで	弥永 耕一	H 11・3
355	今浦島（随筆集）	原田 喜示	
356	生かされたいのち燃やして	來須 富子	
357	いつかの少年	小瀬 一峻	
358	寄宿舎の思い出集	山下 征代	
359	和して流れず	成松 正隆	
360	金子岩三伝	金子 厚男	
361	大溪専先生の生涯	大谷 和雄	
362	俺は開業医	中島 敏彦	H 7・8
363	耐風雪燦人生	古賀 杉夫	H 9・7
364	母の心そのままに	秋森 房子	H 8・11
365	すりごま半世記	鬼崎 接世	H 10・5
366	しづかの海	市川紫都香	H 17・7
367	山のかなた ある医学徒の戦後	鶴澤 春生	H 3・1
368	あやとりの詩	水間真由美	S 56・9
369	おばあさんの山里日記	椎葉クニ子・佐々木章	H 10・5
370	青の残照	氏原三千代	H 16・10
371	直腸の切断	寺田健一郎	S 60・2
372	和して流れず	都築 貞枝 聞書	S 61・3
373	大分の女たち	古庄ゆき子	H 17・9

374	熱く激しく	松岡弘則 語り	H 17・10
375	逆かぐや姫	山川 敦子	H 12・11
376	命限りある日まで	御手洗鯛右	H 12・2
377	ご縁と運と辛抱と	谷脇 源資	H 14・7
378	自分を生きるために	津村 節子	H 3・10
379	絵かきの小休止	寺田健一郎	S 61・3
380	おさの音	松岡 幾男	H 1・3
381	モルヒネはシャーベットで	波多江伸子	H 7・7
382	図書館人生五十年	木村 秀明	H 10・10
383	森を創る	鈴木 明雄	H 7・4
384	熱禱 (いのり)	森永 誠也	H 18・3
385	タラフトンテン	田中 有二	H 18・3
386	死に損のうて	石原 宜子	H 17・10
387	灯が点った	園田 信子	H 14・6
388	わが人生に悔いなし	石井 勲	H 11・8
389	あしあと	古賀 次夫	H 2・10
390	あなた達を産んでよかった	松尾キヌ工	H 6・10
391	三等院長のメモ	三原 七郎	S 34・1
392	からたち	町野 博	S 54・9
393	続からたち	町野 博	S 57・12
394	中学明善在学当時の思い出	南 熊太	S 48・11
395	康ちゃん言行録	安元 康時	H 13・5
396	少女昌恵紅皿エッセイ	川島 昌恵	H 18・3
397	リトル・ボーイ	世良田 元	H 18・2
398	井口保画集	井口 保	H 18・4
399	走頭無路	末安 良行	H 8・4
400	人生史	藤島 美子	H 11・1

401	私は接ぎ木だった	未安 良行	H 11・2
402	ラーメン一代	原野ツタ子	H 11・10
403	大地が友だち	馬場 久夫	H 12・11
404	小林真一物語	堺 孝幸	H 13・8
405	あなたとわたしの人生誌	武藤 和平方 月足美智子	H 14・6
406	80年の傘の下	山村知世夫	H 15・1
407	窓の外は曇り空	江口ムツ子	H 17・5
408	わが青春に食いなし	高橋甲四郎	H 17・5
409	樹陰流れる儘に	松延 幸子	H 18・3
410	黄櫨の旅はぜの実	野中 勝美	H 17・12
411	黄櫨の旅感じるままに	山崎 陽子	H 17・12
412	ほしの残照	山岸 良行	H 18・4
413	わが魂は夕映えと共に	増田 陸郎	H 17・12
414	我流随想	原 忠雄	H 9・5
415	愛はばたいて	野尻千穂子	H 4・5
416	愛しき子等へ	松本 始	S 62・2
417	わたしの歩いた道	政住 光	H 18・7
418	MY PHOTO ALBUM	江上 賢一	H 3・1
419	どこまでも青い空	中野 政子	H 13・7
420	よーそろ倫敦	中野 洋一	H 13・11
421	老兵エッセーに突撃	中村 敦	H 13・5
422	おかげさまで	井上富二・美保子	H 18・3
423	私の生きがい	水曜会 小嶋勇介	H 17・8
424	富永シツ物語	椿 六郎	H 18・10
425	遅しき母	西林須美子	H 8・10
426	人生マラソン折り返し	斎藤 一男	H 6・11

427	昭ちゃん人生	太田 毅	H 5・6
428	舞夢	斉藤 吉弘	H 18・9
429	定年後	岩波書店	H 11・1
430	大島健生集	大島 道雄	H 9・10
431	北やんのバナナ節	北園 忠治	S 60・3
432	生活にゆとりを住みよい村づくり運動	榊 正弘	H 11・6
433	私たちの百年	貞刈惣一郎・みどり	H 18・8
434	煥たり吾が人生	川島 憲一	H 19・2
435	自身の釣り 2006	北島 章	H 19・2
436	我が農協人生に悔いなし	吉田 政人	H 14・5
437	とっばちの風	宮崎 暢俊	
438	みちくさ	泉 佐和	H 19・2
439	ちぎれ雲	岸田 典子	H 19・2
440	少年期	酒井 偉雄	H 19・3
441	風の白書	山村 正明	H 19・2
442	一攫千金の夢を实らせた男	杉原 保	H 12・3
443	暮れなずむ夕映え	富永 義昭	H 12・9
444	弓子の川	橋本勝三郎	H 11・4
445	川筋医者	平塚 弘之	H 3・5
446	プラトニックラブ	江頭 静枝	H 18・4
447	大正・昭和・平成の人生	五十嵐 進	H 19・4
448	我が人生の歩み	辻村 敏郎	H 19・4
449	春はいつ来る	三輪百合子	H 19・4
450	人生に卒業はない	吉田 誠子	H 19・7
451	亡き妻へ	西 行夫	H 19・7
452	坂道の町	久永 丈	H 19・6
453	もっと輝いてシニアライフ	中村 義	H 19・6

454	団塊世代 100 日間世界一周の船旅	多田 稔	H 19・7
455	こだまの響き	浦田 茂	H 12・5
456	餓鬼の残像	八女川 瀬	H 19・8
457	偲び草	井上 公	H 19・1
458	親父のつぶやき	徳永 龍	H 19・9
459	お役所での体験談	田仲 正造	H 19・9
460	生命への祈り	後藤 敦子	H 19・11
461	失語症と携帯電話	牛島 直機	H 19・12
462	続・二人で書いて一人前	神部行雄・恒子	H 20・1
463	非常時に育った俺たち	中島 博	H 20・1
464	酔人回顧録	檀 健二郎	H 17・2
465	戦中派の青春回想	井上 馨	H 20・5
466	法の花暦	湯川 久子	H 19・5
467	機関車に片思い	宇都宮照信	H 19・10
468	ママからの伝言 ゆりちかへ	テレニン晃子	H 19・10
469	私は早くC型肝炎とさよならしたい	福田衣里子	H 18・2
470	またきてくれるの	黒木タツ代	
471	野田タツ代聞き書き	黒木 久夫	
472	自分史	木下 洋一	H 14・3
473	妻への絵手紙	石川 健次	
474	私の人生航路	矢野 一馬	H 8・10
475	定年ブルドッグ	八女川 瀬	H 20・8
476	いびつな器	久重 忠夫	H 20・4
477	柳川の殿さんとよばれて	立花 和雄	H 5・9
478	鶏肋	大鶴嘉晴・恵美子	H 20・7
479	我が人生の歩み	石橋 直俊	H 7・12
480	紅葉の襖	和田 豊次	H 9・4

481	一枝一葉一花の集い	桑野 慶子	H 7・11
482	苦難の人生航路	一條眞津子	H 14・5
483	男運	木澤 廉治	H 10・6
484	八十年の夢の跡	有田 一寿	H 8・11
485	ドジふんじゃった	勝間田敏男	H 19・12
486	漂えど沈まず	松尾 弓祐	H 19・12
487	ヒ口先にごめんね	山下久仁子	H 17・8
488	唯一度きりの手紙	西村 聡淳	H 20・4
489	昭和残映抄	東野 利夫	H 19・12
490	風光る八女美しきものとの出会い	金ヶ江悦子	H 21・1
491	思い出の記	増田正次郎	H 21・3
492	苦境に生きた人生	蔡 金體	H 19・10
493	ぼくの車イス紀行	慈 光 園	H 2・7
494	よろこびの峠	櫟原 茂	H 2・2
495	昭和一桁走り書き	堺 孝幸	H 21・4
496	道すから	瀧本 正造	S 61・5
497	羽犬塚物語	中尾 定子	S 46・9
498	わが生涯の筆とペン	牛島 正樹	S 50・1
499	随想の記	中山 成彬	H 20・11
500	四島一二三伝	原田 種夫	S 42・5
501	四島一二三さん&記念館の風	土居 善胤	H 21・1
502	水明書院主人文集	三原 温	S 60・1
503	医業の片すみで	弥永 耕一	H 3・10
504	続・水明書院主人全集	三原 温	H 17・2
505	幾山河	弓削 静彦	H 11・9
506	虚実の彼方に	鳥越 俊雄	平元・3
507	アジアンスピリット	岩田 恵子	H 17・2

508	お母さんはなんで働くの	泉 美代子	H 21・4
509	わが青春に「食い」なし	高橋甲四郎	H 17・5
510	我が人生に悔いなし	大久保正好	H 21・8
511	奔流の中から	隈河 培男	H 20・7
512	流れ流されて	隈河 伊七	H 7・1
513	年輪	吉田 晃	H 17・3
514	日々これ想うままに	吉田恵美子	H 15・1
515	さとしくんのなつやすみ	吉田恵美子	H 18・2
516	随筆集風景	原田 喜示	H 21・12
517	我が道程 米寿記念	黒木 三郎	H 21・11
518	唐臼の谷辺	坂本 茂木	H 8・4
519	警鐘	若杉 繁喜	H 22・3
520	波に揉まれて半世紀	立神 亮平	H 22・7
521	つわものどもが夢のあと	木下 富夫	H 22・7
522	道を求める児玉静夫の教え	橋本 正人	H 7・2
523	どん底のたたかい	貝島兼三郎	S 55・8
524	激動の時代を大学で	岡本 宏	H 5・3
525	文ちゃん先生の往診鞆	本田 文昭	H 13・3
526	社長の後ろ姿に学ぶ	長谷川裕一	S 55・4
527	感謝 松田家具六十年の歩み	松田 忠次	H 22・9
528	軍人 内野宇一	内野 健一	H 22・9
529	三だいめ	八並 信	H 12・2
530	初雪	多田ハツ子	H 15・3
531	夫の遺稿 土蜘蛛	黒岩 妙子	H 15・9
532	ポケットにろばのパン	桑名佳津子	H 13・4
533	二〇年目の返済	湯川 久子	H 12・11
534	ツクツクハウシのお話	八尋行恩・節子	H 13・1

535	デジタル自分史	城本 幹夫	H 14・9
536	思い出の記 1・2	江上 正	H 15・4
537	時をこえて	前田 幸吉	H 14・10
538	そのとき	和田 文子	H 19・6
539	今日亦晴天	松田 順吉	H 18・4
540	空からお星さまが降ってきた	井上 和子	H 21・4
541	あすなろ人生	今村 隆起	H 14・5
542	私の歩んできた人生	秋間 達男	H 22・12
543	続つわものどもが夢のあと	木下 富夫	H 23・7
544	あしあと	古賀 次夫	H 2・10
545	旅人	山崎 芳信	H 24・2
546	生ききる死にきる介護の現場	甲木 敏光	H 24・4
547	過ぎし愛しき日々	向坂 ゆき	H 24・2
548	池田勻自叙伝	池田 勻	H 24・7
549	朱雲のふるさと	二見 朱実	H 24・3
550	父母に贈るころの詩	二見 朱実	H 13・3
551	祝福の笑顔つどう	朱い鳥・風教室	H 24・5
552	絵手紙記念日	絵手紙仲間の交流会	H 22・5
553	あしあと	小嶋千鶴子	H 15・11
554	間藤次郎伝	黒田 達也	S 61・7
555	時を刻んで -蘇るの巻-	平島 格	H 24・10
556	夢に生きて	木下 富夫	H 25・3
557	夢・幸せな一生	黒木 操	H 25・4
558	八十路紀行	及川 俊一	H 8・11
559	ころの摘み草	稗田チツ子	H 19・5
560	夢幻の如し	飯笹 実	H 20・1
561	泣き虫会長	堤 和之	H 13・1

562	医療現場を見つめて	長沼 恭子	H 15・3
563	移りゆく時を見つめて	杉森 甫	H 22・6
564	こころの一里塚	相川 和男	H 17・5
565	鈴の音のように	大野 一郎	S 64・3
566	八十年わが人生の回想	林 榮一	H 26・3
567	宮永氏系譜誌	宮永 汪仁	H 26・5
568	先祖に感謝して	矢ヶ部千代乃	H 26・6
569	人生いろいろ挑戦の日々	江崎 潔	H 26・3
570	筑紫次郎	笠井 圭子	H 10・10
571	私の昭和史	鶴飼 礼子	H 17・7
572	京子フォーエヴァー	山本 卓也	H 27・6
573	思い出のアルバム	山本 卓也	H 27・6
574	写真でつづる私の履歴書	鶴田 正知	H 27・9
575	郷土政治家の昭和史	柴田 貫蔵	H 13・5
576	昔のくらしと大東亜戦争の思い出	熊谷ミチ子	H 5・12
577	生ききる死にきる介護の現場	甲木 敏光	H 24・4
578	斉藤新助作品集「舞子へ」	斉藤 新助	S 62・12
579	清六さんと私	坂本 寧	H 8・4
580	つれづれの記	今村 新吾	H 28・10
581	かげろう日記	森下 計二	H 28・1・1
582	おうじょうよう集	森下 計二	H 28・8・1
583	年輪で画く木目	馬場 淳次	H 29・5
584	下川秀樹追悼集		S 60・3
585	思い出とそれから	鶴田 正知	H 29・9
586	一筋の道	橋本義比古	H 29・10
587	我が人生	馬場 一臣	H 29・12
588	95歳の回顧 周防大島の少年期	嶋津 斯文	H 30・1

589	幸運の人生を顧みて	大石 涼	H 30・5
590	思い出雑記帳	林 栄一	H 30・6
591	書業無情	森下 計二	H 30・10
592	地域に生かされて	福山 誠	H 30・11
593	丸岡文雄 傘寿までの自分史	丸岡 文雄	H 28・4
594	雑草にも名前がある	益村 聖	R 1・5
595	渡辺幸一の思い出	渡辺 義幸	R 1・6
596	董色の虹	竹本 克範	H 29・3
597	茜色の虹	竹本 克範	R 1・12
598	パパの生き方雑記帳	花岡 光男	H 16・8
599	八十年わが人生	木屋 宏	R 2・4
600	眼鏡を作って七十年	町井 治郎	H 6・5
601	能登の七輪 燃えたり消えたり	岡 一福	R 2・5
602	間藤次郎伝		S 61・7
603	夢でない百歳の同窓会	林 栄一	R 2・7
604	自分史 母国・祖国	吉泉 恒徳	R 2・8
605	天井から降る哀しい音	耕 治人	S 61・11
606	そうかもしれない	耕 治人	S 63・4
607	わが人生行路	小川 哲男	R 2・10
608	母を恋うる記	木下昭次郎	R 3・3
609	白秋期を楽しく	中紙 規良	R 3・3
610	米寿を迎える人生の思い出	満枝 敏行	R 2・11
611	歌文集 わたしの青春	平嶋壽美江	R 2・10
612	福寿草つゞき	梁瀬 利子	S 46・4
613	生きて花 老いて華	大宅 昌	H 6・6
614	うつと生	大沼 俊	H 24・10
615	凡声	吉居 一朗	S 53・6

616	鎌倉歴史漫歩		S 53・9
617	続鎌倉歴史漫歩		S 54・6
618	続々鎌倉歴史漫歩		S 55・7
619	鎌倉 50 撰歴史漫歩		S 57・3
620	凡声II		S 63・5
621	百姓一代	中村スミ子	R 3・5
622	乗り物放浪記	木下昭次郎	R 3・5
623	癌との闘い	国友 浩	R 3・4
624	猩猩亭日乗	中岡 義	R 3・6
625	養子お父ちゃん子育て奮闘記	木下昭次郎	R 3・8
626	あすなろ人生	今井 隆起	H 14・5
627	二ツ河保育園物語	木下昭次郎	R 4・1
628	大正生まれの父からのメッセージ	樋口 要	R 3・12
629	明治女と私	角 隆喜	R 4・1
630	玄冬期に生きる	中紙 規良	R 4・2
631	山みち	中岡 準	R 4・3
632	団塊世代の我が人生ドラマ	山下 清武	R 2・6
633			
634			
635			
636			
637			
638			
639			
640			
641			
642			